

子どものやる気を育てます!

わかくさ

令和3年 10月1日 No.550



目次

○巻頭言「One More ユーモア」	1
○10月の行事予定	1
○谷戸小のオンライン授業	2

西東京市立谷戸小学校 校長 伊藤 正明

One More ユーモア

主幹教諭 堀内 延高

夏休み明けの9月は、スタートの3日間が終わるとオンライン授業に切り替わりました。各メディアでは「新学期が始まったら学校でも感染するのでは？」との話題が多く、ご家庭でも不安な思いが募ったことと思います。谷戸小学校では校医の高山先生からご指導を受け、新型コロナウイルス感染症、特にデルタ株の感染拡大に対して改めて情報共有をし、その特徴や感染防止対策について全教職員で確認をしました。昨年感染が拡大し始めた頃のように闇雲に怖がるのではなく、正しく情報を理解した上で適切に対処し安心な環境を作ることが子どもたちをウイルスの感染症、そして目に見えない不安からも守っていく上で大事だと考えています。現在、新規感染者数が減少傾向にあるものの終息には遠く、依然として窮屈な思いを子どもたちにさせてしまっています。しかし制限がある生活の中だからこそ、よい意味で諦めも必要で、クスッと笑える場面を見つけていけるようなゆとりをもてるといいですね。

さて、先日のオンライン授業でのこと。学習内容を説明した後で、ある児童が挙手ボタンを押して質問があるとの合図を出してきました。何かと思って聞いたら「先生、トイレに行ってもいいですか?」とのこと。リモートで会議をしたことのある方なら、こっそり中座しても大きな影響はないと判断できるでしょう。ところが、子どもたちにとっては時に真剣な問題になることがあります。ここが子どものかわいいところ。教室での授業ならお小言を添えるところですが、「家のトイレを使うときは、先生に聞かないで使ってください。どうぞ!」と促しました(ん?ここでクスッと笑えるのは大人だけかな?)。

ただ注意するだけで終わってしまうのではなく、少しひねりを利かせる「One More ユーモア」は、イライラせずにゆとりをもてるようになるための心構えでもあります。教職員一同、学校が子どもたちにとって安心できる場所であるように、毎日笑顔で出迎えたいと思います。

10月の行事予定

日	曜	行事	日	曜	行事
1	金	安全指導 都民の日	16	土	
2	土		17	日	
3	日		18	月	B時程5時間授業
4	月	委員会	19	火	
5	火		20	水	避難訓練
6	水	3年出前授業	21	木	就学時健診 4時間授業
7	木		22	金	教育支援アドバイザー巡回
8	金		23	土	
9	土	共同保育所にんじん運動会(校庭・体育館)	24	日	
10	日		25	月	クラブ
11	月	クラブ	26	火	教育支援アドバイザー巡回
12	火		27	水	研究授業(5-2)
13	水	4時間授業	28	木	B時程5時間授業
14	木		29	金	体育発表会 <<児童鑑賞日>>
15	金		30	土	体育発表会
			31	日	体育発表会 予備日

10月の生活目標 「すすんで仕事をしよう」

○スールカウンセラーの安田先生の来校日は10月7日(木)、14日(木) 21日(木) 26日(火)です。



谷戸小のオンライン授業



西東京市では、コロナ感染症に伴う緊急事態宣言発令の延長を受けて9月6日から30日に渡ってオンライン授業を行いました。子どもたちの学びを止めないよう、より充実した深い学びができるよう、学校でもいろいろな方法を模索しながらのオンライン授業でした。ご家庭からも様々なご協力をいただき本当にありがとうございました。各学年、専科のこの1か月の取組についてお伝えします。

1年

1年生はクラスを半分にして1クラス12人～13人で、全部で4つの教室で対面授業を行いました。1組は北校舎2階へ教室を引っ越し、2組は1年1組と2組の教室に分かれて過ごしました。また、その間タブレットの使い方にもだいぶ慣れてきた様子で、自分でログインをしたり、算数の課題をクラスルームを使って提出したりできるようになりました。土曜授業では初めてのオンライン授業に挑戦しました。

2年

2年生は、おもに算数、国語、体育、図工、音楽を中心にオンライン授業に取り組みました。一人一人がオンラインホワイトボードに書き込んでそれを使って交流をしたり、配信された手本の動画を見て一人一人のペースで練習をしたり、オンラインの長所を生かした取り組みを行いました。今回のオンライン授業で身に付けた方法や能力を、これからの授業にも役立てていこうと思います。

3年

オンライン授業では、一人一人のタブレットの画面にその日の学習内容や作業の指示、必要に応じて資料までわかりやすく提示できることが大きな長所です。その一方で、いつもの授業のような方法で、黒板に書いたことを映して、それを一生懸命に書き写す子どもたち。できることを増やしつつ、デジタルとアナログをうまく使い分けながら学習習慣をしっかりと身に付け、学習内容の理解を深めさせたいと考えています。

4年

夏休みから始めたタイピング練習の成果が表れ、オンライン授業でもタブレット活用の幅が広がりました。スライドを中心に授業を進めましたが、友達の意見をメモしたり、自分の考えをノートに記述したり、それぞれの場所で学びを深めていきました。挙手マークを使うと、いつもは手を挙げるのをためらう子どもたちも手を挙げて発言することができていました。今後も、身に付けた力とやる気を生かしていきます。

5年

5年生のオンラインの学習では、スライド、フォーム、ドキュメント、ジャムボードなどを主に使用しています。クラスルームを通して、課題を提出するなど、複雑な操作もこなせるようになりました。また、Meetを使って、黒板を写し出したり、学習課題を共有したりすることで、家庭にいても、しっかりと学習に取り組む姿勢を見ることができました。身に付けた力をさらに高めていきたいと思います。

6年

オンラインであっても対話的で深い学びを実現したいと、校内の様々な人の協力をいただきながら、試行錯誤で授業づくりをしてきました。友達の考えに共感したり、自分の発表を認めてもらったりできる喜びや楽しさが味わえるグループmeetは、高学年らしい学びができるおすすめシステムでした。担任が、班のmeetに順番に参加すると、活発な話し合いが、画面いっぱい広がっています。新たな学び方を見つけたと思います。

音楽

2～6年生の学習では、タブレットを活用した場面も取り入れながら、なるべくいつも通りに授業を進めました。実際には会えなくても、画面上で一緒に歌ったり演奏したり、手拍子アンサンブルでは音楽の仕組みを視覚的に感じられたりと、オンラインならではのよさも感じることができました。思いっきり声や音を出して、やとっころしい音楽を演奏できる日が本当に待ち遠しいです！！

図工

9月2週目は、事前に配布した材料で、展示会の共同作品として飾るペーパーアートに全学年で取り組みました。タブレットの画像での説明は低学年には理解しづらいようでしたが、どの学年もみんなすてきな作品ができました。図工は材料や道具があってこそその教科で、オンラインではできることが限られてしまいますが、4、5年生はアニメーションづくりなどタブレットならではの題材を楽しむことができました。